

屋間を想定した火災避難救助訓練では、2階看護師がリーダーとして全体を指揮する。また全職員は2階SSにすべての情報を伝えます。

1)火災発生

午後2時00分

2)出火場所

寿恵苑

3)出火場所の確認

①②

① 2F看護師は、受信機で火災表示が点灯した場所を見て、感知場所を確認し、「〇〇が点灯しています、確認してください」と、大きな声で周りに伝えます。(消防署から連絡来たら⑩参照)

4)初期消火

③④⑤

② 出火現場に居合わせた他の数名の職員は近くの消火器をもって感知場所に行き火元を探します。(時計回りに)

③ 火災の有無を確認し、直ちにその場所で「火事だー！！火事だー！！」と周りに聞こえるように大きな声で2回叫び、初期消火の準備をします。

5)避難救助

⑥⑦

④ 消火器を作動し消火のための動作を行った上で約15秒間維持する(想定)

⑤ 初期消火失敗後、「消えません、避難してください」と大声で叫び、その後避難救助にあたります。

5)非常放送

⑧⑨

⑥ 火事を聞きつけた他の職員は入居者の避難誘導にあたります。

⑦ 2F看護師へ「〇〇より火災発生、苑内放送お願いします」と伝え、その後避難救助にあたります。

院内放送(別館)

⑩

⑧ 非常放送で「〇〇より火災発生、〇〇より火災発生

〇〇へ避難誘導してください。)(非常放送3～4回繰り返す)

6)避難誘導

応援職員

⑪⑫⑬

⑨ 2F看護師は福山医院(内線10番)へ緊急連絡し、「本館〇〇より火災発生救助応援お願いします、苑内放送もお願いします」と伝える。

放送を聞いて駆け付けた避難誘導応援職員に「〇号室！次は〇号室」と指示を出し、その後から来た職員には「レクルームから〇〇へ誘導してください」と指示を出します。(ハンドマイク使用)

応援職員

⑬⑭

⑩ 本館より連絡を受けた職員は院内放送します。

「本館〇〇より火災発生直ちに避難誘導応援お願いします」(3回繰り返す)

⑪ 段ボールをベッド上の入居者に見立て(2人1組)、車椅子2台も入居者に見立てて救助しレクルームまで誘導します。全員避難したのを確認し部屋の扉を閉めます。

⑫ 「〇号室は避難しました。次は 〇号室です。」と周りにわかる様に大きな声で伝えます。

⑬ レクルームで中継し、避難場所へ誘導します。(段ボールは2人1組)

⑭ ベッドから他担架に乗せ避難場所へ移動します。

8)避難者人数報告

入居者全員避難後職員も

避難

入居者数報告⑮

職員数報告⑮

消防隊長へ報告⑯

⑮ 避難したグループのリーダー(当日の日勤者)は避難した入居者数と職員数を自衛消防隊長に伝えます。(入居者数と職員数を別々の職員が報告)

⑯ 避難誘導後、消防隊が到着したら、消防隊長へ状況報告します。

⑰ 「入居者〇名、職員〇名、全員避難しました」と報告します。

※ ペット1台・車椅子1台・担架1台使用します。

消防署連絡対応(消防署へは自動通報されます)

※「通報が作動しました」とアナウンスが流れます。「火事ですか」と聞いてきます。(人が足りない場合は対応しないでもいい)

a:今確認中です b:誤報です c:火事です

aの場合は、結果を消防署へ伝えてください。

bの場合は消防車が未出動であれば出動を中止します。出動済みなら

サイレンを止めて確認の為、現場へ来ます

終了

駐車場への
避難救助・誘導訓練

1) 火災発生

2) 出火場所

3) 出火場所の確認

(①⑥…⑩)

4) 初期消火

(②③④⑤)

(④⑤)

5) 避難誘導

(⑪)

6) 非常放送・苑内放送

(⑦)

(⑧)

(⑩)

7) 避難誘導

(外来患者避難誘導

終了後救助応援職員)

(⑨⑪⑫)

本館からの応援職員

3分後(⑪⑫)

3分後(⑪⑫)

4分後

(⑬)

8) 避難者人数報告

避難誘導終了後は福山医院

玄関前に職員全員避難する

入居者数報告(⑭)

外来患者数報告(⑭)

職員数報告(⑭)

消防署消防隊長へ報告

(⑮)

終了

屋間を想定した火災避難救助訓練では、2階看護師がリーダーとして全体を指揮する。また全職員は2階SSにすべての情報を伝える。

午後2時30分

福山医院・寿恵苑別館

①	2F看護師は、受信機で火災表示が点灯した場所を見て、感知場所を確認し「〇〇が点灯しています、確認してください」と、大きな声で周りに伝えます。(消防署から連絡来たら⑩参照)
②	居合わせた他の職員は近くの消火器をもって感知場所に行き火元を探します。
③	火災の有無を確認し、直ちにその場所で「火事だー！！火事だー！！」と、周りに聞こえるように大きな声で2回叫び、初期消火の準備をします。
④	消火器を作動し、消火のための動作を行った上で消火体制をとり、約15秒間維持します。(想定)
⑤	初期消火失敗後、「消えません、避難してください」と大声で叫び、その後は救助にあたります。
⑥	2階看護師は福山医院事務員(内線10番)へ「〇〇より火災発生、院内放送お願いします」と伝えます。
⑦	福山医院事務員は非常院内放送で「〇〇より火災発生、〇〇より火災発生 「〇〇階段から〇〇へ避難誘導してください。」(5～6回繰り返す)
⑧	他の看護師は本館事務所(内線50番)へ「別館〇〇より火災発生避難誘導応援お願いします 苑内放送もお願いします」と伝えます。
⑨	その後は…本館からの避難誘導応援職員に〇〇号室！！次は〇〇号室…と、指示を出します。…ハンドマイク使用
⑩	火事の連絡を受けた医院職員は他の職員へも連絡し外来患者・入居者の避難誘導にあたります。
⑪	別館から連絡を受けた職員は苑内放送をします。 「別館〇〇より火災発生、直ちに避難誘導応援お願いします」(3回繰り返す)
⑫	段ボールをベッド上の入居者に見立て(2人1組)、車椅子1台も入居者に見立てて救助し階段前で後からの避難誘導応援職員と中継します。全員避難したのを確認し部屋の扉を閉めます。
⑬	「〇号室は避難しました。次は〇号室です。」と周りに聞こえるように大きな声で伝えます。
⑭	2階階段前で中継し、担架で避難場所へ避難救助します。(担架入居者役は職員)
⑮	避難したグループのリーダー(当日の日勤者)は避難した入居者数・外来患者数と職員数を自衛消防隊長へ伝えます。(入居者数・外来患者数・職員数を別々に報告)
⑯	避難誘導終了後、消防署消防隊長へ状況報告します。 「入居者〇名、外来患者〇名、職員〇名、全員避難しました」と報告します。

※ベッド1台・担架1台使用

消防署連絡対応。(消防署へは自動通報されます)

※「通報が作動しました」とアナウンスが流れます。「火事ですか？」と、聞いてきます。

⑯ a:今確認中です b:誤報でした c:火事です

aの場合は、結果を消防署に伝えてください

bの場合は消防車が未出動であれば出動を中止します。出動済みならサイレンを止めて確認の為、現場へ来ます。

※応対する時間がない場合は出ないでもいい。消火・避難誘導が優先です。